

よしかわ通信

E-mail kyudaiji@aqua.ocn.ne.jp



りんどう 漢道

錦秋の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素はひとたならぬ御指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

5年5ヶ月続いた小泉政権が終り、戦後生まれの史上最年少の総理大臣が誕生した日本政府は、新しい時代を迎えようとしております。高萩市も史上最年少の市長が頑張っていただいておりますが、残念なことに最初の試みは断念することになったようです。ゴミの分別収集は、うまくいけば理想的でありましたが、ちょっと全市民あげて実行するのには、難しかったようです。

なかなか解決の糸口がつかめないゴミ問題の今後の対策がなんとかならないことには、高萩市としての進歩とはいえないかもしれません。

今後も、私なりに最善の努力を尽くしてまいりたいと思っております。皆様方の御理解と今後の御協力および、御意見、御指導、御要望をよろしくお願い申し上げます。



発行

高萩市議会議員

よしかわどうりゅう
吉川道隆

高萩市安良川 686
TEL 0293-24-0833
FAX 0293-22-3340

平成18年9月議会

一般質問

産業廃棄物最終処分場建設反対に対する請願に対して

請願の内容

田代中戸川地区に、民間資本による、産業廃棄物最終処分場を建設する動きがあり、住民の知らない所で計画が進んでいるようである。これらの地区は、高萩市の水源地であり、稀少魚のムハシヤマメの生息地であるため、最終処分場建設により環境を破壊されると大変になるため、建設を反対したい。

よしかわの賛成討論

ゴミは必ず出てくるものであり、廃棄物処理については、循環型社会構築のために必要な事項であることには違いなく、処分場もどこかには建設しなければいけないものであることは理解できる。しかし、各自治体において、処理施設立地に対する基準を設けているところは多くあり、その要件として定められている点があります。宮崎県の基準をみると、

◎積替え・保管施設・埋め立て施設に係る周辺環境に関する要件は次のとおりとする。

- (1)上水道、簡易水道、井戸水等の飲料水への影響のおそれがないこと。
- (2)海洋、河川、水路、湖沼及び地下水等への影響のおそれがないこと。
- (3)史跡、名勝、天然記念物、文化財等の保護に対する影響のおそれがないこと。
- (4)大気汚染、騒音、振動、悪臭等による生活環境への影響のおそれがないこと。
- (5)地滑り、土砂崩れ等の災害を発生させるおそれがないこと。

となっている。しかし、残念ながら、**茨城県の対応は遅く、こういう具体的な基準は公開されていない。生活環境部に問い合わせてみたところ、それぞれ個々に対応するそうである。**確かに、それぞれの計画がどのようにになっているか、よく検討しなければ、その土地に建設すること許可できるかどうか、決定できない、県としては、出来る限り処分場をつくれる状況にしておきたいということだろうとは思うが、やはり、**住民本位の立場で考えるなら、宮崎県や熊本県のようにある程度の基準を示すべきだと私は考える。**

現在高萩で動きのある、田代中戸川地区は、これらの請願にも書かれているとおり、飲料水、地下水への影響のおそれがあること、稀少魚のムハシヤマメの保護に対する影響のおそれがあることなどから考えて、施設立地の基準からは大きく外れている。

今回の田代中戸川地区に予定されている、処分場の建設に対しては私も請願に賛成し、建設を反対致します。

平成17年の6月議会では高萩市は「環境都市宣言」をしている。環境を守る、大切にするとして宣言しておきながら、積極的に水源地である、山間地域に処分場をつくるようでは、矛盾しているのではないか。建設地については、環境に対して、最大限に配慮し、よく検討すべきであると私は考えている。

民間資本によるものだけでは、住民の声が反映されにくい、計画が進められている段階での透明性に欠ける。今回でも、計画案が出ていないのに、決議するのはおかしいと言われるかもしれないが、わからないところで計画が進んでいる状況では、こういう形で意思表示をするほかない。民間企業が口に出すまで放っておいたのでは遅くなってしまって、あの祭りになってしまふことだってあるかもしれない。

同じ、施設をつくるのであるならば、**公共関与により安心・安全な廃棄物処理施設づくりを進めるとともに信頼性・透明性のある廃棄物処理施設の運営を行っていただきたい。**

今後のごみ処理計画を進めていくにあたっては、廃棄物処理技術の高度化を十分踏まえつつ、信頼性、安全性の高い廃棄物処理施設の設置を進めなければならない。また、地域住民の不安を取り除き信頼を確保するため、上水道、簡易水道水源及び地下水の汚濁や悪臭等周辺環境への悪影響が生じないよう、環境保全対策に万全を期するほか、住民参加のもとで廃棄物処理施設の設置・運営を行い、住民による監視機能を充実するとともに、周辺地域の生活環境に十分配慮し、地域との調整を図るべきである。

不燃+プラ リサイクル経費

	金額	予想外経費	
リサイクル協会へ支出	122,111円		
木製資源分別作業架台作成	393,750円	393,750円	
廃プラスチック資源中間処理委託	1,057,522円	1,057,522円	
雑 費	10,800円		
合 計	1,584,183円	1,451,272円	当初予定経費 132,911円



ゴミ処理計画の全容について

本年4月より実施された、不燃ごみとプラスティックごみの分別収集については、分別状態の悪さ、仕分けの困難さ等により、9月をもって中止されました。確かに、プラスティックごみを完全にきれいな形で分別できれば、すぐにリサイクルに出すことができ、有料となる、不燃ごみを減らすことができる。理想的な循環ができることになる。しかし、現実的には大変手間のかかる作業で、ついでに面倒になってしまい、「洗って乾かして」をやらない。一つでも、それをしないと、他のものがきれいになっていても、袋の中で汚れてしまう。高萩市全市民がその面倒な作業をやるでしょうか。さらにどこまでがプラスチックごみで、その他のものと間違えなく、分別をすることができるでしょうか。結局、この5ヶ月間で、再利用率がたったの約7.2%、経費が約12倍もかかったそうです。草間市長の政策で進めた分別収集だったそうですが、**理想と現実の見極めが甘かった**のかもしれません。急に全市民に実行させるのではなく、段階的にまずは、プラスチックごみの収集をスーパー等に設置してある、牛乳パックや白色トレイの収集のように、自主的に持ってくる形にして、分別収集に理解と協力のできる人から参加するようにすればよかつたかもしれません。現在、炭化炉による可燃ごみの処理場建設について計画されています。しかし、その計画の中に**建設予定地に関することは明記されておりません**。今まで一番もめていたその点についてはっきりさせないで、内容ばかり検討を進めていてもしょうがないのではないかでしょうか。近隣地域の住民に対する話し合いが出来ないことには、結局断念することになりかねません。なるべく経費がかからないようにしようとすると、現在高萩市が所有している土地につくるのが一番可能性が高いでしょう。それを考えると、そんなにたくさん候補地があるわけではないでしょうから、ある程度、予想ができます。執行部の頭の中では候補となる土地を考えているのでしょうかが、明記することなく、進めていて**またしても計画だおれにならない**よう、綿密に進めていただきたいと思います。

11月8日より、糸魚川の処理場を見学にいきます。前回も見学に行っているところに、何度も何度も、場